

草津地区障害者施設連絡協議会

新型コロナウイルス感染症 対策勉強会



草津保健所 地域保健福祉係
副主幹 山田 智晴

本日のテーマ

☆ 感染拡大防止のために

☆ 濃厚接触者とならないために

新型コロナウイルス感染症の基礎知識

- 新型コロナウイルスは、風邪、SARS、MERSを引き起こすコロナウイルスの仲間



- 主に飛沫・接触感染する

◆ 目・鼻・口の粘膜からウイルスが体内に侵入

→ マスク、アイシールドで予防。飛沫が届かないよう距離をとるのも有効。

◆ 手がウイルスを運ぶ

→ 石けんでの手洗い、手指消毒で手をキレイに。目・鼻・口を触らない。

- ウイルスの潜伏期間は1～14日間

濃厚接触者の健康
観察・自宅待機期間

- 感染性期間は発症2～3日前から

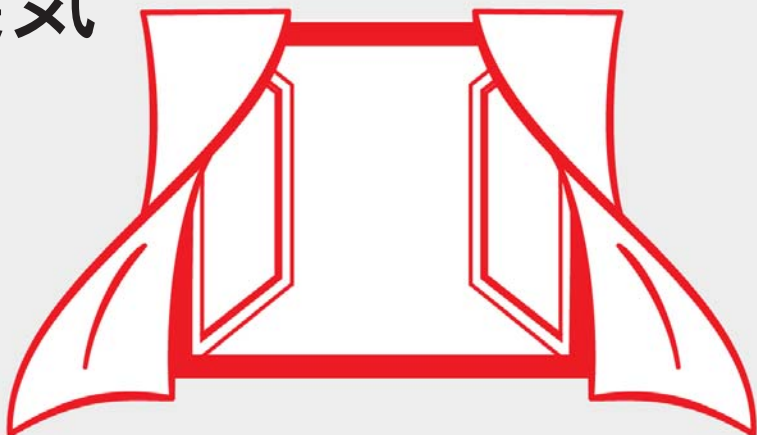
濃厚接触者の特定時期

発症後7～10日間

かつ、症状軽快後72時間
経過で退院可能

感染拡大防止のための基本対策

換気

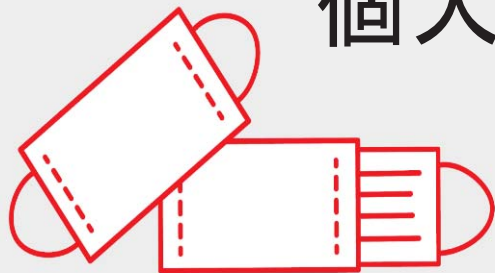


特に利用者さんがマスク着用できない場合、重要です。

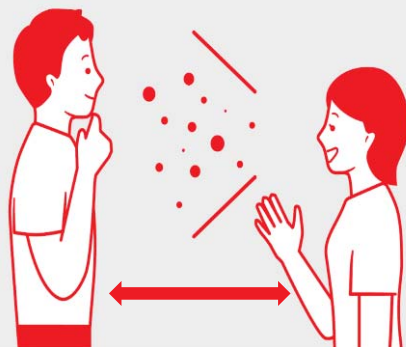
手指衛生



個人防護具












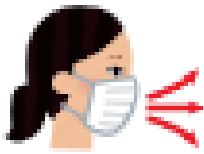

距離・時間



環境消毒

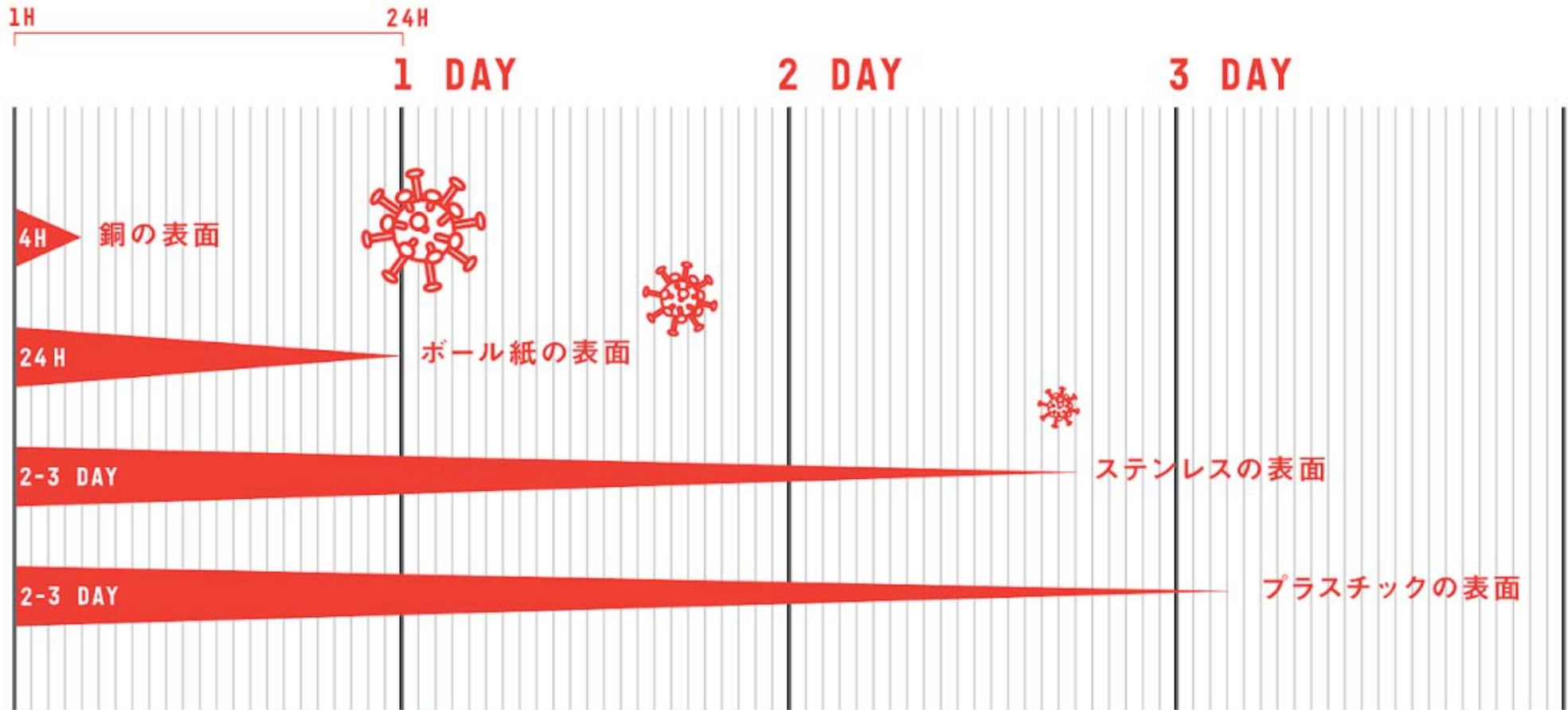


マスクやフェイスシールドの効果

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド*	マウスシールド
						
		不織布 	布マスク 	ウレタン 		
	吐き出し飛沫量					
	100%	20%	18-34%	※2 50%	80%	※2 90%
	吸い込み飛沫量					
	100%	30%	※2 55-65%	※2 60-70%	小さな飛沫に対して効果なし (エアロゾルは防げない)	

※2 豊橋技術科学大学による実験値

新型コロナウイルスの生存期間



*新型コロナウイルスを含んだ液体を噴霧し、「エアロゾル」と呼ばれる微粒子にして計測

アメリカ国立衛生研究所・アメリカ疾病予防管理センター (CDC) ・カリフォルニア大学ロサンゼルス校が米医学誌「ニューイングランド・ジャーナル・オブ・メディシン」に発表

<https://www.pandaid.jp/covid>

銅	段ボール	ステンレス	布	プラスチック	ガラス
4～8時間	24時間	2～3日	2日	3日	4日

多かった事前質問

①施設内の消毒頻度は・・・？

→少なくとも始業前or終業時に共有部分全体を。(リセット)

口に手を入れる利用者さんが多いのであれば、みんながよく触る部分はこまめに消毒する方が望ましい。

②推奨される消毒薬は？使い分けは？

→新型コロナの場合、消毒用アルコール(70%)が実用的。噴霧だけでは隙間ができるので、しっかり拭き取る。乾いて初めて消毒効果が出る。(手の消毒も同じ。)

0.05~0.1%次亜塩素酸ナトリウムでもよいが、水で二度拭きが必要であったり、消毒に不向きな物もある。臭いが気になることも。

※ノロウイルスには次亜塩素酸ナトリウム！消毒用アルコールは効果なし。

本日のテーマ

☆ 感染拡大防止のために

☆ 濃厚接触者とならないために

患者発生時の対応（入院・療養まで）

【感染症法第12条（第1項）医師の届出】

保健所による受診調整もしくは医療機関判断による検査

検査結果：陽性（発生届の受理）

【入院調整のための情報の把握】

症状や既往歴・現病歴、家族構成・家族の健康状態・職業、家屋の状況、支援者の有無等

【感染症法第15条
感染症の発生の状況、動向及び原因の調査】

【積極的疫学調査】

症状の有無・経過、就労の有無、症状発生（無症状の方はPCR検査実施日）から2週間さかのぼっての行動（同居者以外の方との接触状況、接触場所、接触時間）、接触者の氏名

【所内協議にて濃厚接触者決定】

※必要に応じて、就労先等の調査を実施

【療養先の決定】

県コントロールセンターと情報を共有し、コントロールセンターにおいて療養先の決定を行う。

【感染症法第21条 感染症患者の移送】

【必要に応じて入院移送支援】

施設への患者発生時の対応の流れ

施設への連絡

◆本人(またはご家族)の了解のもと、施設へ連絡。

◆消毒依頼

【患者および疑い患者の居室、行動範囲等の消毒を依頼】

◆患者の行動歴(特に感染性期間)、利用場所の見取図または写真、座席表(職員なら事務所、利用者さんなら食事場所等)、健康管理表、接触者リスト等の作成を依頼。

施設調査

◆実地調査または電話での聞き取り調査(資料はメールで送付してもらう)。

◆感染対策助言。不十分であったり施設側に不安がある場合、県医療福祉推進課を通してICN派遣依頼。

◆PPE在庫確認。不足時は県医療福祉推進課へ施設から依頼してもらう。

所内協議

◆患者の症状や症状発現時期、職員・利用者との接触状況、職場環境から、濃厚接触者・接触者(検査対象者)を特定。

※詳しい状況を確認するため、何度も施設とやり取りすることもあり。

接触者の健康管理

◆濃厚接触者へ検査調整、14日間自宅待機および健康観察を説明。

◆場合によっては濃厚接触者の健康観察の取りまとめを施設に依頼し、保健所に毎日報告してもらう。

◆濃厚接触者が圏域外に居住する場合は、居住地の保健所へ対応を依頼。

◆接触者へ検査調整、結果判明までの自宅待機を説明。

収束

◆新規の患者発生なく、2週間の健康観察期間が終了したら、収束と判断する。

濃厚接触者の定義

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の引き・第6.0版 より

表 3-2 濃厚接触者の定義

「患者（確定例）」の感染可能期間（発症2日前～）に接触した者のうち、次の範囲に該当する者である。

- ・患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- ・適切な感染防護なしに患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた者
- ・患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・その他：手で触れることのできる距離（目安として1m）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と15分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）。

（積極的疫学調査実施要領について、2021.1.8.改訂）

陽性者がマスクを着用していた場合

自分の個人防護具 (PPE)			曝露リスク	就業制限
マスク	アイガード	ガウン/手袋		
×	×	×	中	14日間
×	○	○	中	14日間
○	×	×	低	なし
○	○	×	低	なし
○	○	○	低	なし

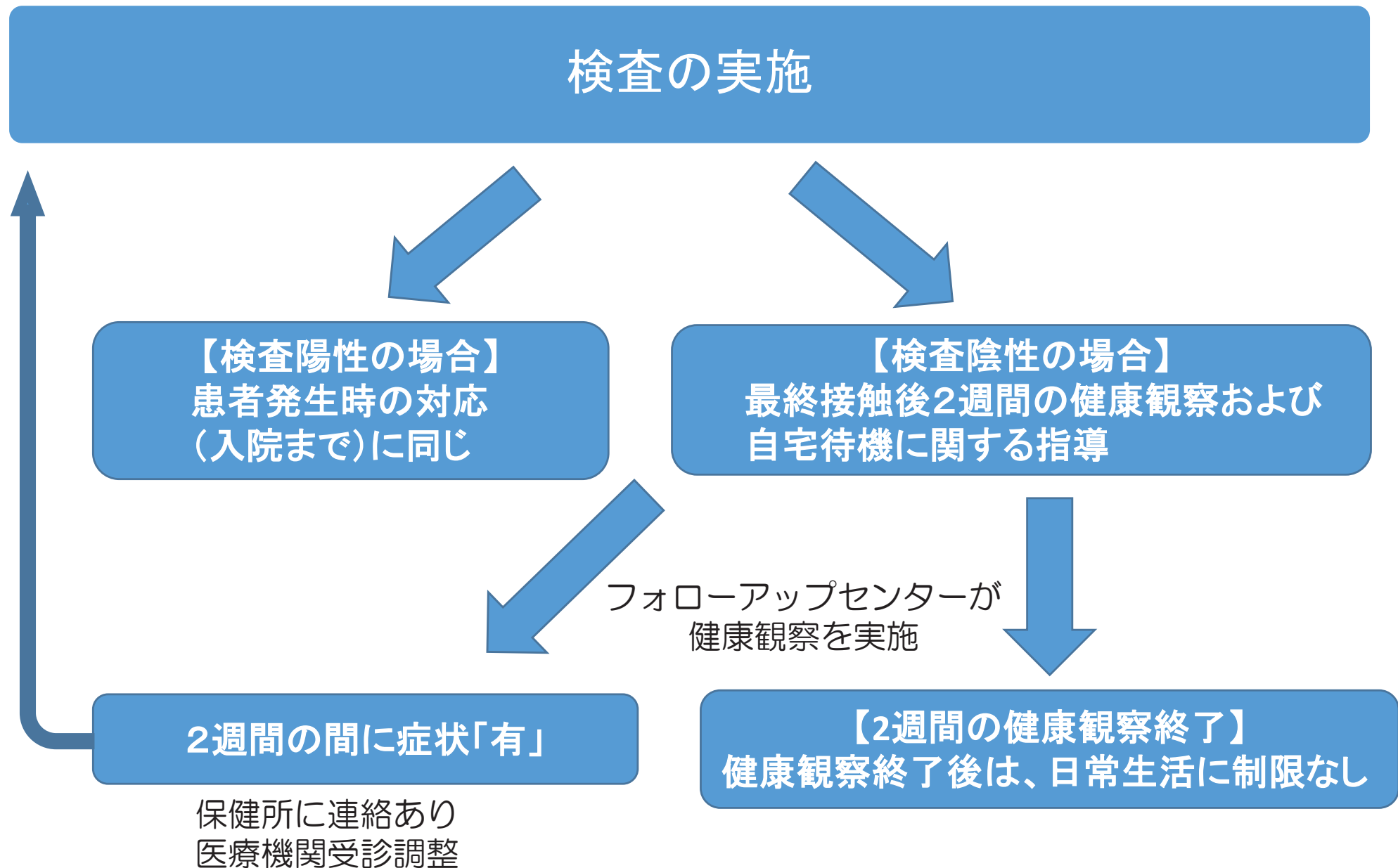
陽性者も自分もマスク着用で接触があった場合、基本的に濃厚接触者に該当せず、14日間の就業制限はかからない。
 (ガウンなしで広範囲な身体接触あった場合は個別判断になります。)

陽性者がマスクを着用していなかった場合

自分の個人防護具 (PPE)			曝露リスク	就業制限
マスク	アイガード	ガウン/手袋		
×	×	×	高	14日間
×	○	○	高	14日間
○	×	×	中	14日間
○	○	×	低	なし
○	○	○	低	なし

陽性者がマスクなしで接触した場合、自分がマスク+アイガードを着けることで濃厚接触者に該当せず、14日間の就業制限を避けられる。
 (食事介助、口腔ケア、入浴介助等をアイガードなしで行うと濃厚接触者になる確率が高いです。)

濃厚接触者への対応



新型コロナウイルスに関するQ&A(一般の方向け)

●更新箇所●

5. 新型コロナウイルス感染症に対する医療について

問5-8を更新しました。

令和3年11月8日版

3. 新型コロナウイルス感染症の予防法

問1 感染を予防するために注意することはありますか。心配な場合には、どのように対応すればよいですか。

問2 家族に新型コロナウイルスの感染が疑われる場合に、家庭でどんなことに注意すればよいでしょうか。

問3 濃厚接触者とはどのような人でしょうか。濃厚接触者となった場合は、どのようなことに注意すればよいでしょうか。

問4 「咳エチケット」とは何ですか。

問5 高齢者の多い社会福祉施設などでは、どのような感染対策を行っていますか。

問6 「接触確認アプリ」とは何ですか。どのように役立つのでしょうか。

4. マスク・消毒液に関するもの

問1 マスクはどのような効果があるのでしょうか。

問2 マスク・消毒液の確保・供給に向けて、政府はどのような対策を講じていますか。

問3 新型コロナウイルス感染予防のための手洗いや身の回りのものの消毒・除菌はどのようにしたらよいですか。

問4 次亜塩素酸ナトリウムと次亜塩素酸水は異なるものですか。両方とも新型コロナウイルス感染症対策に有効なのでしょうか。

問5 人がいる空間での消毒剤の空間噴霧は行ってはいけないのでしょうか。

5. 新型コロナウイルス感染症に対する医療について

問1 新型コロナウイルス感染症にかかっていないか調べてほしいのですが、どうしたらいいですか。

問2 新型コロナウイルス感染症を診断するための検査にはどのようなものがありますか。

問3 自費でPCR検査を受ける場合に、注意すべき点がありますか。

問4 陽性になって入院や療養をした場合、どうなったら元の生活に戻れますか。

4. マスク・消毒液に関するもの

問1 マスクはどのような効果があるのでしょうか。

マスクの素材や、人と人の距離感等によって、マスクの効果には違いが生まれます。(※)ここでは御自身の目線で説明するため、便宜上、「飛沫を出す側:自分」「飛沫を吸い込む側:相手」と記載します。

まず、マスクの素材ですが、一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ちます。次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果があります。もちろん、人の顔の形は千差万別ですので、同じ素材のマスクの間でも、自分の顔にぴったりとフィットしているマスクを選ぶことが重要です。また、マスクのフィルターの性能や布の厚さなどによっても差が出ます。

次に、マスクは、相手のウイルス吸入量を減少させる効果より、自分からのウイルス拡散を防ぐ効果がより高くなります。仮に50センチの近距離に近づかざるを得なかった場合でも、相手だけがマスクを着用(布マスクで17%減、不織布マスクで47%減)するより、自分だけがマスクを着用(布マスク又は不織布マスクで7割以上減)する方が、より効果が高く、自分と相手の双方がマスクを着用することで、ウイルスの吸い込みを7割以上(双方が布マスクで7割減、不織布マスクで75%減)抑える研究結果があります。

特に、室内で会話を行う場合は、マスクを正しく着用する必要があります。また、屋外ならばマスクは不要ということではありません。感染防止に必要な「最低1メートル」の間隔を確保できない場合もありますので、やはりマスクは重要です。自分から相手への感染拡大を防ぐために、話す時はいつでもマスクを着用しましょう。

(参考)マスクの効果について

https://corona.go.jp/proposal/pdf/mask_kouka_20201215.pdf

(参考)マスクの効果に関する動画

<https://corona.go.jp/proposal/>

(参考)正しいマスクの付け方

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593493.pdf>

<https://www.youtube.com/watch?v=VdyKX4eYba4>

最後に・・・

- ◆ 利用者さんの主な感染経路は施設(職員)または家庭。
- ◆ 利用者さんだけでなく、職員も日ごろの体調管理が大切。
37.5℃以上の発熱だけにこだわらず、「いつもと違う」という感覚が大切。
- ◆ 利用者さんがマスク着用できないのは仕方ない。
(似合いますね！素敵ですね！と褒めたら着けてくれるという場合もある
そうですが・・・。)
その分換気をしっかり、手指消毒をしっかりと、アイガードをつけて対策を。
- ◆ 送迎車内も窓を開けてしっかりと換気をしましょう。
- ◆ マスク着用なしの利用者さんがいる以上、陽性者が出た場合に濃厚接触者が出ることは仕方ありません。しかし、換気や消毒等で感染対策しておくことで、濃厚接触者が陽性になる感染拡大リスクは減らせます。